

kokyoso tsushin

高教組通信 No.13

2013年9月27日

兵庫高教組書記局

URL: <http://www.hyogo-kokyoso.com> E-mail: honbu@hyogo-kokyoso.com長期構想検討委員会報告
(素案)に対してパブリックコメントを

9月19日に県立高等学校長期構想検討委員会は、同委員会報告(素案)を発表しました。素案の目的は、「県立高等学校教育改革第二次実施計画」の評価・検証をふまえ「平成27年度の新通学区域の導入をふまえた県立高校における教育改革の方向性」を明らかにすることです。この素案に対して、県民から広く意見募集を行うとして、パブリック・コメントが実施されています。「素案」をよく読んで、私たちの意見を発信しましょう。

《パブリック・コメントの実施方法》

- (1)期間 9月20日(金)～10月11日(金)
- (2)閲覧方法 インターネット 県教委事務局高校教育課のホームページに掲載
県民情報センター 中央県民情報センター及び地域県民情報センター
- (3)意見提出方法 電子メール、FAX、郵送により 高校教育課へ提出
電子メール koukoukyouikuka@pref.hyogo.lg.jp
FAX 078-362-4288
郵送 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1

《長期構想検討委員会報告(素案)に対する高教組の見解》

県立高等学校長期構想検討委員会は、同委員会報告(素案 以下素案)を9月19日発表しました。素案の目的は、「県立高等学校教育改革第二次実施計画」の評価・検証をふまえ「平成27年度の新通学区域導入を踏まえた県立高校における教育改革の方向性」を明らかにすることでした。しかし、素案は、評価・検証については全体として「概ねその成果が上がっている」としたものの、第二次実施計画が本年度で終了するにもかかわらず「学区再編の影響や、新しい国の動き、人口減少の状況も慎重に検討する必要がある。したがって、当分の間は、『第二次実施計画』を延長し引き続き改革を進めながら、適切な時期に実施計画を検討することが適当と考える。」として第三次実施計画作成にはストップをかけたのです。このことは兵庫における高校教育改革の行きづまりと「国待ち」という自主性のなさを明らかにしたものとと言えます。

1 素案が示した今後の方向性の基本的な問題点

素案が示した県立高等学校教育改革の6つの方向性は以下の通りです。

高校教育の「質保障」。すべての高校生に共通して身につけさせるべき資質・能力を明確に。学びたいことが学べる魅力ある学校づくり。基礎・基本の定着、人間育成、進路希望への対応。

入学者選抜制度・方法の改善。

生徒減に対応する望ましい規模の確保と適正配置の推進。

生徒数の動向、生徒・地域の実情把握と配慮。

県民に理解できるよう改革の内容を複雑化しない。

問題点1...教育条件整備については一言も言及せず

県行革による教育予算の1割カットが続いています。その結果、生徒たちの机や椅子の購入、学校によっては授業プリントやテストの印刷用紙の購入にさえ支障をきたす事態が生まれてきています。また、十数年に及ぶ連年の賃金引き下げやいっこうに改善されない長時間労働によって県教委自ら「教職員の士気の低下」への懸念を表明せざるを得ない状況となっています。教育行政の本来の任務は教育条件整備です。また、教育条件整備を抜きに教育の改善などあり得ません。素案は教育条件整備に言及しないという大きな欠陥を持っています。

問題点2...高校教育の「質保障」の名の下に教育の多様化=複線化を推進

高校の「質保障」とは高校教育の多様化が進むと「何を習得したのか見えにくくなる」ので「質保障」が必要であるという意味です。そして、今後の多様化の方向としては「各高等学校が生徒をどのような方向に育てていくのか」というビジョンを明確に「する必要がある」としています。この議論は、中央教育審議会の高等学校教育部会での議論を踏襲したものです。同教育部会で示されている高校像とは下記の通りであり従来の特色化と質的に異なる重大な方針転換を含むものです。

ノンエリート正規労働者養成高校 = 社会経済活動の基盤を担う人材

低中級技術者養成高校 = 専門的職業人に必要な資質・能力の育成

エリート養成高校 = 社会におけるリーダー層やグローバル社会において国際的に活躍できる人材

芸術・スポーツ専門高校 = 芸術・スポーツ等の特別な才能を伸ばす

非正規労働者養成高校 = 自立して社会生活・職業生活を営むための基礎的な能力

素案の具体的な記述の中にも「基礎的・基本的知識を習得し、その上で進路を決めようとする全日普通科においては、主体的に学ぶ態度を育成するとともに、キャリア教育の充実を図ること」との記述があります。これは上記の「ノンエリート正規労働者養成高校」または「非正規労働者養成高校」を意識した記述といえます。そして、今まで兵庫では避けられてきた「グローバル社会に対応する能力の育成を通して、文系理系双方で力を発揮するリーダーが育成できる高等学校の設置」、「英語力強化指導重点校」、「スーパーサイエンスハイスクールの取り組みの成果を生かし、さらに理科教育を推進」などエリート養成校づくりの